

令和3年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(清水地区)

開催日時	令和3年11月2日(火)午後6時から午後8時
場 所	清水ふれあいセンター
町民参加者	36人(40代以下3人、50代2人、60代以上31人)
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画政策課長、参事兼都市整備課長兼新東名対策室長、総務防災課長、保険健康課長、農林課長、商工観光課長、上下水道課長、事務局3人

出席者からの主な意見や提案

《テーマ：特になし》

- デマンドタクシーについて、利用者数がそれほど多くないという話であったが、清水地区の高齢者は皆さん元気な方が多く、自分で車を運転して移動する方が多いのではないかと。しかし、今は良くても5年ぐらい経つと状況は変わると思う。サービスの実施については、今後の状況をよく見て判断していただきたい。
- 防災無線のデジタル化について、来年の12月までにはデジタル化が完了するとの事だが、畑沢地区は戸別受信機によって対応してもらうことも一つの選択肢であると言われている。我が家でも受信機本体のアンテナでは1回で受信ができないことがある。専用のアンテナをつければよいと言われるが、現在と同じようなスピーカーの施設にしたい。災害が発生した時に畑などに出ていると戸別受信機では気づかないことも多い。ぜひ、地域事情を考えて検討していただきたい。
- 清水地区は子どもが少ないということもあるが、安心して遊べる場所が少なく、子どもを気軽に送り出せる公園がない。医療については地域に夜間診療所がないため小田原まで行くか救急車を呼ぶしかなくどちらも選択しづらいという状況である。夜間の診療体制を整えてもらえると安心して子育てができると思っている。また、安心して子どもを産める施設が遠すぎる。小田原の病院では行くまでに心配であり、子どもを産んで増やしていくことを考えるならば、その環境を整える必要があると思う。さらに、保育料について、3子目の保育料免除は2子目が同時期に在籍していることが条件になっている点が不公平に感じるため検討していただきたい。また、3歳以上の給食を完全給食としていただきたい。
- スマートIC周辺の構想について、役場の若手職員によるプロジェクトチームができたこと聞いたので、その進捗状況についてお伺いしたい。また、町では町民との対話の場として座談会を開催しているが、そこで発言をするのはハードルが高いように感じる。少

し敷居を下げて若手職員と地域の方が意見交換できる機会を設けてはどうか。ふれあいビレッジの整備については、高齢者や子供など包括的な利用やデイキャンプなど地域の方の利用も含めて考えてはどうか。また、災害時の避難施設として活用できるように整備してはどうか。

○谷ヶ地区の田んぼでシカによる被害があった。町からの支援で網を設置したが簡単なものであったのでほとんどが倒されてしまった。来年はなんとか対処しなければいけないと考えているので、引き続きご協力をお願いしたい。また、松田町のジビエ施設の設置について議会だよりで拝見した。施設が完成すれば鳥獣被害の改善につながると期待しているが、進捗状況についてお聞きしたい。

○丹沢湖の浚渫（しゅんせつ）について、ダンプ車両による搬出が常態化しており、周辺住民の交通安全や住環境を脅かされている。町として何か対策があれば伺いたい。また、浚渫した土砂等を、残土として遠くまで運ぶのではなく、丹沢湖周辺で処理施設を作り製品化してはどうか。

○新東名の工事に関して、トラックの追い越しや横断歩道での一時不停止など交通違反が散見されるため、町から伝えていただきたい。

○鳥獣被害についてクマの被害を大変心配している。クマは頭が良いので一度覚えたエサ場には必ず戻ってくると聞いている。駆除を含めた対策について考えをお聞きしたい。

○山北町はいいところなのでもっとアピールをしていく方が良い。フェイスブックやインスタグラムなどを使って町外から訪れる人にアピールをしてもらえるようにするとよい。